

市野新田ダム転流式

柏崎周辺農業水利事業所 市野新田支所 吉村侑一郎

平成27年4月27日(月)に、市野新田ダム建設現場において、転流式を挙行しました。当日は快晴に恵まれ、地元のダム対策協議会の大野会長をはじめ、関係機関である新潟県、柏崎市、柏崎土地改良区、ダム建設工事の受注者である(株)フジタ等から約40人が出席しました。



工事の安全を祈願（祝詞奏上）

現在、建設を進めている市野新田ダム（平成24年4月着工）は、鵜川水系の支川石橋川にあり、堤高26.7m、有効貯水容量160万m³の傾斜遮水ゾーン型フィルダムです。河床部の基礎掘削、基礎処理、堤体の盛立等の工事に向けて、ダムサイトに流れる河川を仮排水路に迂回させることを転流といい、工事の安全を祈願するとともに、ダム工事の本格化を告げるものです。本工事では、石橋川に流れる水を昨年度に建設した仮排水トンネル(延長211.4m)に転流しました。



万歳三唱が新緑に響く

転流式に先立ち神事を執り行ない、柏崎周辺農業水利事業所の鈴木所長や、新潟県柏崎地域振興局農業振興部の服部副部長、柏崎市の竹内産業振興部長、柏崎土地改良区の武田事務局長により玉串奉奠が行われるなど、これからの工事の安全を祈願しました。



御神酒流し

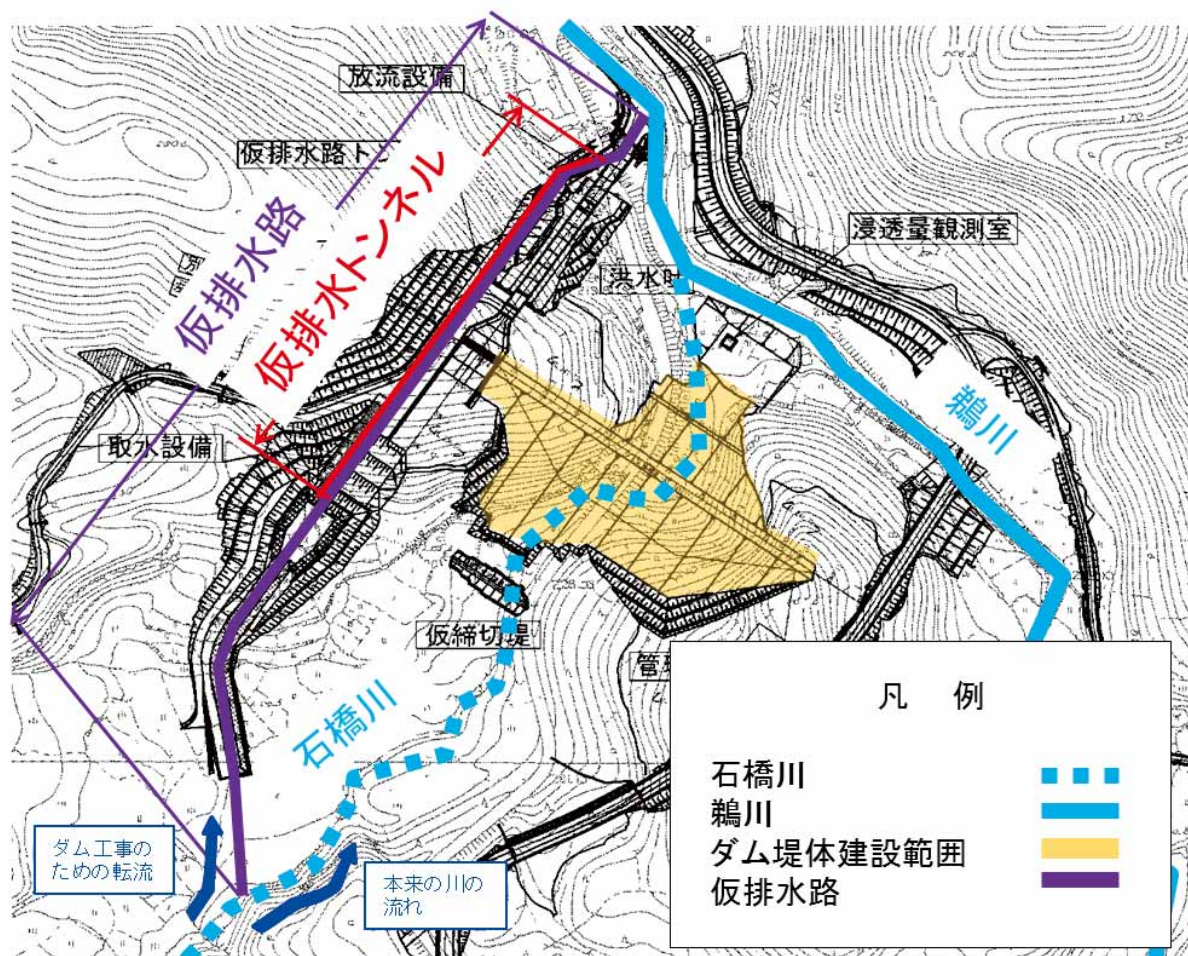
転流式では、(株)フジタ坂元所長の「転流開始！」の合図とともに、せき止められていた石橋川の水が仮排水路に流れ込み、当事業所石田次長の発声のもと、出席者全員で万歳三唱をしました。



ダム対策協議会からの出席者と記念写真

今後、試験湛水を開始するまで、この仮排水路に石橋川の水が流下することとなります。また、ダム堤体の盛り立てが終わる頃に、仮排水トンネル内に導水管を布設し、供用時には、この導水管と下流の幹線導水路を経由し、受益地までダムの水が行き渡ることとなります。

地元の皆様を始め、関係各位のご理解とご協力をいただきながら、転流を迎えることができました。水不足に苦勞してきた柏崎地域の農地を潤すため、今後とも職員一丸となって、市野新田ダムの早期完成に努めて参りたいと思います。



平面図（概要）